

II 本宮市の概況

1 本宮市のあゆみ

平成19年1月1日、合併新法（市町村の合併の特例等に関する法律）のもと本宮町と白沢村の廃置分合により、県内13番目の市となる「本宮市」が誕生しました。

もとより2町村は、安達地方南部の南達地域と呼ばれる地理的關係から生活圏を同じくし、地縁的なつながりも深く、古くから様々な面において盛んに交流が行われていました。

本宮町は、古くから奥州街道の宿場町として栄えてきた町です。昭和29年3月本宮町・荒井村・青田村・仁井田村の1町3村が合併し、翌30年4月和木沢村の一部（高木・糠沢の一部）が、さらに昭和31年4月に岩根村が合併しています。以来、南達地域の産業・経済・交通の中心地として発展してきました。

白沢村は、昭和30年4月、和木沢村（高木・糠沢の一部は本宮町に合併）と白岩村の合併により「白沢村」が形成され、主に米や畜産などの農業を中心に発展し、それぞれに古い歴史と伝統があります。

2 位置と地勢

本宮市は、福島県のほぼ中央に位置し、北は二本松市・大玉村、南と西は郡山市、東は三春町に接しています。

市の中央部を北流する阿武隈川をはじめ、その支流である五百川、安達太良川、白岩川、仲川などの多くの河川が流れるほか、東部には阿武隈山系の岩角山、高松山、岳山などの山並みや丘陵地、西部には安達太良山から連なる大名倉山を中心とした山並みを有しており、水と緑の豊かな自然に恵まれています。

気候は、太平洋岸の表日本気候に属しますが、阿武隈山系の背後地に位置することから年間を通じて比較的温暖で、平均年間気温13.1℃、平均年間降水量1143.2ミリメートルとなっています。（福島地方気象台 二本松観測所 2014～2023）

市域の広がり、東西17.9km、南北9.7 kmで、総面積は88.02 km²となります。

■土地の地目別面積

令和6年1月1日現在

区分	田	畑	山林	原野	雑種地	宅地	その他	計
面積 (k m ²)	18.13	11.94	29.16	1.28	4.43	9.13	13.95	88.02
構成比	20.60%	13.57%	33.13%	1.45%	5.03%	10.37%	15.85%	100.0%

（資料：固定資産概要調書）

3 人口及び世帯数

令和6年5月31日現在

地区名	人 口 (人)			世帯数 (戸)
	男	女	計	
本 宮	4,959	5,225	10,184	4,332
青 田	719	745	1,464	565
荒 井	936	977	1,913	829
仁 井 田	1,124	1,058	2,182	912
高 木	1,697	1,702	3,399	1,348
岩根・関下	1,854	1,814	3,668	1,187
和 田	703	740	1,443	495
糠 沢	1,245	1,266	2,511	876
白 岩	734	732	1,466	498
長 屋	290	308	598	172
稲 沢	318	313	631	215
松 沢	146	148	294	102
計	14,725	15,028	29,753	11,531

(資料：住民基本台帳人口)

(過去10年の現住人口及び世帯数の推移)

区 分	人 口 (人)			世帯数 (戸)
	男	女	計	
H26.4.1	15,007	15,550	30,557	9,740
H27.4.1	14,985	15,467	30,452	9,888
H28.4.1	15,141	15,625	30,766	10,088
H29.4.1	15,144	15,609	30,753	10,268
H30.4.1	15,113	15,516	30,629	10,448
H31.4.1	15,087	15,445	30,532	10,586
R2.4.1	14,974	15,321	30,295	10,677
R3.4.1	14,971	15,173	30,144	10,637
R4.4.1	14,937	15,088	30,025	10,766
R5.4.1	14,886	15,035	29,921	10,957
R6.4.1	14,833	15,036	29,869	11,146

(資料：現住人口及び世帯数)